

日本
大学 生物資源科学部

Q&A

受験ガイド

2 0 2 7

バイオサイエンス学科／動物学科／海洋生物学科／森林学科

環境学科／アグリサイエンス学科／食品開発学科

食品ビジネス学科／国際共生学科／獣医保健看護学科／獣医学科

生物資源科学部の 個性豊かな 11学科で学べること

生物資源科学部には、生命や食料、資源、
環境に関する諸問題の解決に向け、
多彩な視点でアプローチをする学科がそろっています。
各学科におけるホットなテーマや研究領域を示すキーワードから、
ご自身の興味や好奇心にかなう学びの舞台を、
ぜひ発見してください。

01 バイオテクノロジーで生命現象を解明し、
社会に役立てる

バイオサイエンス学科

遺伝子とゲノム
サプリメントと薬理学
栄養と健康
発酵と醸造
生理活性物質
スマートセルインダストリー
医薬と化粧品
微生物と植物

04 森林と人間社会との関係を理解し、
森林の保全と利用を図る

森林学科

森林ツリーリズム
きのこインテリア
森林環境教育
森林微生物生態
バイオマス利用
森林空間情報
森林フィールド実習
樹木医

05 身近な自然環境や地球環境、
都市環境、防災について研究する

環境学科

自然環境
地球温暖化
リモートセンシング
防自然保護
地球環境
都市環境
循環型社会
再生可能エネルギー
ランドスケープ

08 食の流通やビジネス、
食まつわる文化について研究する

食品ビジネス学科

食料資源
フードツーリズム
フードコーディネーター
食品マーケティング
食文化
フィールドリサーチ
世界のフードシステム
食品産業
食文化
食品産業

09 国内外での体験を通じグローバルな視点で
ビジネスや文化・社会を学ぶ

国際共生学科

持続性社会
コミュニケーション
国際人材マネジメント
食料貿易
マーケティング
国際社会協力
フィールドワーク
データサイエンス
資源循環

Q&A

昨年度の選抜方法から、以下の点が変更となります。

※付属高等学校及び提携校等における変更内容については記載していません。

- ① 一般選抜 …… 募集人員の一部変更、英語科目は外部試験による4技能評価を利用することも可能
- ② 総合型選抜 …… 募集人員の一部変更、学科により選考日程の変更
- ③ 学校推薦型選抜公募制 …… 募集人員の一部変更

選抜について

Q 一般選抜の採点方法について、標準化得点とありますが詳しく教えてください。

A 一般選抜では、標準化得点を用いて可否を決定しています。標準化得点とは、個々の受験生の素点と全体の平均点との差を、標準偏差を単位として表したものです。この方法は、それぞれの受験生の科目の平均点を50になるように補正し、科目間における問題の難易度を調整するものです。

Q 一般選抜における追加合格候補者について教えてください。

A 追加合格候補者は入学者に欠員が生じた場合に追加で合格者となりますので入学予定者の状況によっては合格になりません。

Q 一般選抜(A個別方式)で、収容人数の関係上、他試験場での受験になる場合があると記載がありますが、詳しく教えてください。

A 各試験場(湘南を除く)ごとに設定された収容人員を超えた場合は、他試験場での受験となります。なお、湘南試験場は生物資源科学部の校舎です。

Q 一般選抜の過去問の配布や販売はされないのでしょうか。

A 日本大学生物資源科学部では過去問の配布、販売はしていません。過去問の販売については、各書店等にお問い合わせください。また、閲覧についてはオープンキャンパス、進学相談会、生物資源科学部入学センターで対応しています。

※学部行事等により入構を制限している場合がありますので、来校前にHP、電話等で状況を確認してください。

Q 学校推薦型選抜で実施されている確認テストについて教えてください。

A 確認テストの対象教科は志望学科によって異なります。獣医学科の場合は、国語、数学、英語の3教科、それ以外の学科を志望する方は、3教科から2教科を選択する方式(試験時間:60分)で行います。出題範囲については「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」、「数学I・数学II・数学A(図形の性質、場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)」、「英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II、論理・表現III」です。高等学校の授業を理解していれば十分に対応できるレベルのテストです。

Q 学校推薦型選抜等での面接について教えてください。

A 面接は受験生1名につき面接担当者3名で、志望理由や将来の夢など様々な質問を行います。面接時間は10~15分程度です。

Q 各試験室には時計がないと聞いたのですが本当ですか。

A 試験室には時計がありませんので、必ず時計を持参するようにしてください。ただし、計算機能等の付いた時計や携帯電話等を時計代わりにすることはできません。

Q 個別で進学相談ができる日はありますか？

A 生物資源科学部には入学センターがあり、学部行事等の状況により異なりますが、キャンパス見学や進学相談を行っています。ご希望の場合は、入学センターまでお問い合わせください。

【入学センター】

[開室時間] 月~金曜日 9:00~17:00

土曜日 9:00~13:00

[電話] 0466-84-3812(直通)

Q 文系科目だけで受験できる学科はありますか。

A 「食品ビジネス学科」と「国際共生学科」が該当します。上記2学科は文系科目だけで受験できます。

学びについて

Q 動物についてはどの学科で学べますか？

A 「動物学科」、「獣医学科」、「獣医保健看護学科」、「アグリサイエンス学科」などで学べます。純粋に動物の生理機能や生態、進化などについて学びたいのなら「動物学科」、動物の病気を治したり、健康を守ったりする仕事がしたいなら「獣医学科」や「獣医保健看護学科」、畜産に興味があるのなら「アグリサイエンス学科(動物性食資源分野)」などをご検討ください。

Q 植物についてはどの学科で学べますか？

A 「アグリサイエンス学科」、「森林学科」、「バイオサイエンス学科」などで学べます。作物や果樹に興味があり、食料生産に関わる仕事がしたいなら「アグリサイエンス学科(植物性食資源分野)」、花の栽培や品種改良、装飾などに興味があるなら「アグリサイエンス学科(フラワーサイエンス分野)」、植物の生理機能や生態を科学的に解明したいなら「バイオサイエンス学科(微生物・植物コース)」、森林の植物や樹木、きのこなどに興味があるなら「森林学科」などをご検討ください。

Q 「食品開発学科」と「食品ビジネス学科」の違いは？

A 食品の開発や製造について学ぶか、食品の流通や食文化について学ぶかの違いです。「食品開発学科」では、新しい食品の開発や加工・製造などに関する理論や、技術・スキルを学びます。そのため化学など理系科目の比重が大きくなっています。「食品ビジネス学科」では、食品産業や流通、消費、食文化などを学びます。そのため経営・経済、マーケティングなど文系科目の比重が大きくなっています。

Q 「環境学科」の環境とは何を意味しているのですか？

A 地球環境、自然環境、都市環境の3つを研究分野としています。地球環境とは、気象や地球温暖化など地球全体の環境。自然環境とは、生物が棲息する水や土壌、大気などの身近な環境。都市環境とは、私たちが暮らす街や都市、社会基盤を指します。それぞれの環境で起こっている問題を解決します。

Q 「国際共生学科」は、海外実習や研修が必須なのでしょうか。

A 推奨しますが、必須ではありません。「国際共生学科」では、国内にいながらグローバルに活躍できる人材を育成することも重視しています。国内に住む外国人が増加し多文化社会が形成されたり、日本から海外へ向けて情報を発信する機会が急増するなど、国内にいながらグローバル化に対応する能力が、今後ますます必要となってきます。そのため、国内におけるフィールドワークや課題解決型プロジェクトなども海外実習や研修同様に重視します。

その他

Q 興味深い学科が複数あって迷っています。

A 学科を超えた学びも可能です。本学部は全学科がワンキャンパスに集約されているので、自分の学科以外の講義も簡単に受講することができます。他学科の講義を単位として認める制度もあります。

Q 愛玩動物看護師とは何をやる仕事ですか？

A 動物の健康や福祉を守る、獣医師の強力なパートナーです。愛玩動物看護師は、獣医師と協力しペットの健康を守る新しい国家資格です。具体的には動物病院などで、獣医師の診療の補助や動物の看護、ペットの飼い主へ適正な飼養に関する助言などを行います。

1 募集人員・日程

学 科	募集人員	出願締切日	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 食品ビジネス学科 国際共生学科 獣医保健看護学科 獣医学科	60名 40名 50名 35名 40名 39名 45名 42名 42名 27名 54名	令和9年 1月22日(金) (必着) 【郵送でのみ受付】	令和9年 2月2日(火)	令和9年 2月10日(水) 13:00~ ※インターネットによる 合否案内	令和9年 2月17日(水)

(試験場) 下記の都市で実施予定。試験場の詳細は一般選抜募集要項で確認してください。
 仙台／水戸／宇都宮／高崎／新潟／静岡／名古屋／大阪／福岡／東京／湘南
 ※ 試験場の都市は変更になる場合があります。改めて出願時に確認してください。
 ※ 試験場は出願時に、各自の希望により選択できます。ただし、選択時に収容人数が既に超過の場合は他試験場での受験となります。

2 入学検定料 35,000円

3 試験教科・科目 (3教科3科目 合計300点)

学 科	教 科	科 目	選択方法
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 獣医保健看護学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ,英語コミュニケーションⅡ,英語コミュニケーションⅢ,論理・表現Ⅰ,論理・表現Ⅱ,論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数 学	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ,数学Ⅱ,数学A(図形の性質,場合の数と確率),数学B(数列),数学C(ベクトル)」	1教科選択
	理 科	「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」	1科目選択
食品ビジネス学科 国際共生学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ,英語コミュニケーションⅡ,英語コミュニケーションⅢ,論理・表現Ⅰ,論理・表現Ⅱ,論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数 学 理 科 地理歴史 公 民	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ,数学Ⅱ,数学A(図形の性質,場合の数と確率),数学B(数列),数学C(ベクトル)」 「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」 「歴史総合・日本史探究」,「歴史総合・世界史探究」,「地理総合・地理探究」 「公共,政治・経済」	2教科2科目選択 (「地理歴史」, 「公民」間の 組み合わせは不可)
	外国語	「英語コミュニケーションⅠ,英語コミュニケーションⅡ,英語コミュニケーションⅢ,論理・表現Ⅰ,論理・表現Ⅱ,論理・表現Ⅲ」	必須
	数 学 理 科	「数学Ⅰ,数学Ⅱ,数学A(図形の性質,場合の数と確率),数学B(数列),数学C(ベクトル)」 「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」	必須 1科目選択

4 一般選抜における外部英語資格・検定試験の換算基準について

対象試験	90点に 換算	80点に 換算	70点に 換算	対象試験	90点に 換算	80点に 換算	70点に 換算

- 外部の英語資格・検定試験スコアを上記の換算基準により外国語の得点として利用することができます。スコアを提出した場合は本学部の外国語の試験を受験する必要はありませんが、本学部の外国語の試験を受験した場合は、高得点の方を合否判定に使用します。
- いずれも4技能合計のスコア。異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。複数回受験した場合でも各技能の最高点の合算は行いません。
- 実用英語技能検定については、2級以上を受験し、4技能の全てのスコアを取得していること(合格・不合格は問いません)。
- IELTS™はAcademic Moduleのオーバーオール・バンド・スコアを用います。(5) TOEFL®PBTおよびTOEFL ITP®のスコアは利用することができません。
- 各資格・検定試験実施団体の定めるスコアの有効期限が出願締切日以後のものに限ります。

5 変更点 募集人員の一部変更、英語科目は外部試験による4技能評価を利用することも可

1 募集人員・日程

学 科	募集人員	出願締切日	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 食品ビジネス学科 国際共生学科 獣医保健看護学科 獣医学科	17名 13名 13名 9名 10名 10名 13名 11名 11名 7名 10名	令和9年 2月12日(金) (必着) 【郵送でのみ受付】	令和9年 2月20日(土)	令和9年 3月1日(月) 13:00~ ※インターネットによる 合否案内	令和9年 3月11日(木)

(試験場) 下記の都市で実施予定。試験場の詳細は一般選抜募集要項で確認してください。

名古屋／大阪／東京／湘南

※ 試験場の都市は変更になる場合があります。改めて出願時に確認してください。

※ 試験場は出願時に、各自の希望により選択できます。ただし、選択時に収容人数が既に超過の場合は他試験場での受験となります。

2 入学検定料 35,000円

3 試験教科・科目 (3教科3科目 合計300点)

学 科	教 科	科 目	選択方法
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 獣医保健看護学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数 学	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」	1教科選択
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択
食品ビジネス学科 国際共生学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数 学 理 科 地理歴史 公 民	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」 「歴史総合・日本史探究」, 「歴史総合・世界史探究」, 「地理総合・地理探究」 「公共, 政治・経済」	2教科2科目選択 (「地理歴史」, 「公民」間の 組み合わせは不可)
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択
獣医学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	数 学	「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」	必須
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択

4 一般選抜における外部英語資格・検定試験の換算基準について

対象試験	90点に 換算	80点に 換算	70点に 換算	対象試験				
				90点に 換算	80点に 換算	70点に 換算		
実用英語技能検定CSEスコア (CSE2.0)	2,304 以上	2,142 以上	1,980 以上	IELTS	5.5 以上	5.0 以上	4.5 以上	
TEAP(R/L+W/S)	309 以上	267 以上	225 以上	TOEFL iBT [®]	2026年1月20日以前 に実施した試験	72 以上	57 以上	42 以上
GTEC	1,180 以上	1,055 以上	930 以上		2026年1月21日以降 に実施した試験	4 以上	3.5 以上	3 以上

- 外部の英語資格・検定試験スコアを上記の換算基準により外国語の得点として利用することができます。スコアを提出した場合は本学部の外国語の試験を受験する必要はありませんが、本学部の外国語の試験を受験した場合は、高得点の方を合否判定に使用します。
- いずれも4技能合計のスコア。異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。複数回受験した場合でも各技能の最高点の合算は行いません。
- 実用英語技能検定については、2級以上を受験し、4技能の全てのスコアを取得していること(合格・不合格は問いません)。
- IELTS™はAcademic Moduleのオーバーオール・バンド・スコアを用います。(5) TOEFL[®]PBTおよびTOEFL ITP[®]のスコアは利用することができません。
- 各資格・検定試験実施団体の定めるスコアの有効期限が出願締切日以後のものに限ります。

5 変更点 募集人員の一部変更、英語科目は外部試験による4技能評価を利用することも可

1 募集人員・日程

学 科	募集人員	出願締切日	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 食品ビジネス学科 国際共生学科 獣医保健看護学科 獣医学科	8名 5名 6名 5名 5名 5名 6名 6名 6名 3名 5名	令和9年 1月22日(金) (必着) 【郵送でのみ受付】	令和9年 2月1日(月)	令和9年 2月10日(水) 13:00~ ※インターネットによる 合否案内	令和9年 2月17日(水)

※ 出願期間、出願方法、試験場の詳細は一般選抜募集要項でご確認ください。

2 入学検定料 18,000円

3 試験教科・科目 (3教科3科目 合計300点)

学 科	教 科	科 目	選択方法
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 獣医保健看護学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数学① 数学②	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)」	1教科1科目選択
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択
食品ビジネス学科 国際共生学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数学① 理 科 地理歴史 公 民	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」 「歴史総合・日本史探究」, 「歴史総合・世界史探究」, 「地理総合・地理探究」 「公共, 政治・経済」	2教科2科目選択※
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択
獣医学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	数学① 数学②	「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)」	数学①または② どちらかを選択
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択

※ 「数学①」、「地理歴史」、「公民」は同一時間割のため、組合わせ不可。

- (1) 上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用します。
 (2) 医学部を併願していて、「理科」を合否判定に使用する場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用します。(3) 上記の科目を標準化得点に換算し、合否判定します。

4 一般選抜における外部英語資格・検定試験の換算基準について

対象試験	90点に換算	80点に換算	70点に換算	対象試験	90点に換算	80点に換算	70点に換算	
実用英語技能検定CSEスコア(CSE2.0)	2,304以上	2,142以上	1,980以上	IELTS	5.5以上	5.0以上	4.5以上	
TEAP(R/L+W/S)	309以上	267以上	225以上	TOEFL iBT®	2026年1月20日以前に実施した試験	72以上	57以上	42以上
GTEC	1,180以上	1,055以上	930以上		2026年1月21日以降に実施した試験	4以上	3.5以上	3以上

- (1) 外部の英語資格・検定試験スコアを上記の換算基準により外国語の得点として利用することができます。スコアを提出した場合は本学部の外国語の試験を受験する必要はありませんが、本学部の外国語の試験を受験した場合は、高得点の方を合否判定に使用します。
 (2) いずれも4技能合計のスコア。異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。複数回受験した場合でも各技能の最高点の合算は行いません。
 (3) 実用英語技能検定については、2級以上を受験し、4技能の全てのスコアを取得していること(合格・不合格は問いません)。
 (4) IELTS™はAcademic Moduleのオーバーオール・バンドスコアを用います。(5) TOEFL®PBTおよびTOEFL ITP®のスコアは利用することができません。
 (6) 各資格・検定試験実施団体の定めるスコアの有効期限が出願締切日以後のものに限ります。

5 変更点 募集人員の一部変更、英語科目は外部試験による4技能評価を利用することも可

1 募集人員・日程

学 科	募集人員	出願締切日	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 食品ビジネス学科 国際共生学科 獣医保健看護学科 獣医学科	7名 5名 5名 5名 5名 5名 5名 5名 5名 2名 3名	令和9年 2月25日(木) (必着) 【郵送でのみ受付】	令和9年 3月4日(木)	令和9年 3月15日(月) 13:00～ ※インターネットによる 合否案内	令和9年 3月18日(木)

※ 出願期間、出願方法、試験場の詳細は一般選抜募集要項でご確認ください。

2 入学検定料 18,000円

3 試験教科・科目 (2教科2科目 合計200点、獣医学科は3教科3科目 合計300点)

学 科	教 科	科 目	選択方法
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 獣医保健看護学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択
食品ビジネス学科 国際共生学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数学① 理 科 地理歴史 公 民	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」 「歴史総合・日本史探究」, 「歴史総合・世界史探究」, 「地理総合・地理探究」 「公共, 政治・経済」	1教科選択
獣医学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	数学① 数学②	「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)」	数学①または② どちらかを選択
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択

(1) 上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用します。

(2) 医学部を併願していて、「理科」を合否判定に使用する場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用します。(3) 上記の科目を標準化得点に換算し、合否判定します。

4 一般選抜における外部英語資格・検定試験の換算基準について

対象試験	90点に 換算	80点に 換算	70点に 換算	対象試験	90点に 換算	80点に 換算	70点に 換算
実用英語技能検定CSEスコア (CSE2.0)	2,304 以上	2,142 以上	1,980 以上	IELTS	5.5 以上	5.0 以上	4.5 以上
TEAP(R/L+W/S)	309 以上	267 以上	225 以上		TOEFL iBT®	72 以上	57 以上
GTEC	1,180 以上	1,055 以上	930 以上			2026年1月20日以前 に実施した試験	4 以上
					2026年1月21日以降 に実施した試験	4 以上	3 以上

(1) 外部の英語資格・検定試験スコアを上記の換算基準により外国語の得点として利用することができます。

スコアを提出した場合は本学部の外国語の試験を受験する必要はありませんが、本学部の外国語の試験を受験した場合は、高得点の方を合否判定に使用します。

(2) いずれも4技能合計のスコア。異なる実施回の各技能のスコアを組み合わせることはできません。複数回受験した場合でも各技能の最高点の合算は行いません。

(3) 実用英語技能検定については、2級以上を受験し、4技能の全てのスコアを取得していること(合格・不合格は問いません)。

(4) IELTS™はAcademic Moduleのオーバーオール・バンド・スコアを用います。(5) TOEFL®PBTおよびTOEFL ITP®のスコアは利用することができません。

(6) 各資格・検定試験実施団体の定めるスコアの有効期限が出願締切日以後のものに限ります。

5 変更点 募集人員の一部変更、英語科目は外部試験による4技能評価を利用することも可

総合型選抜概要

1 募集人員

バイオサイエンス学科 17名／動物学科 10名／海洋生物学科 12名／森林学科 10名／環境学科 10名／アグリサイエンス学科 12名／食品開発学科 12名／食品ビジネス学科 10名／国際共生学科 10名／獣医保健看護学科 7名

2 出願資格

高等学校または中等教育学校等を卒業した者あるいは令和9年3月卒業見込みの者、またはそれと同等以上の学力があると認められる者(学校教育法施行規則第150条)

3 出願要件

次の要件をすべて満たす者

- (1) 本学部・学科のアドミッション・ポリシー及び教育・研究内容を十分理解し、意欲的に学修を継続できる者
- (2) 本学部(学科)を第一志望とし、合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者

アドミッション・
ポリシーはこちらから
ご確認ください



デバイスによって読み取れない場合があります

4 出願期間

令和8年9月24日(木)～9月28日(月) 郵送必着

◎1次選考

- ① 選考方法 書類選考
- ② 出願書類
※8月1日(土)以降必要書類を本学部ホームページからダウンロードしてください。
 - (1) 出願確認票(web上で出願登録し、プリントアウトしたもの)
 - (2) 志望理由書(本学部所定の用紙)
 - (3) 小論文課題
 - (4) 出身学校調査書
- ③ 入学検定料 35,000円
- ④ 1次選考合格発表日 令和8年10月14日(水)に郵送にて発送します

◎2次選考

注：学科により選考日程が異なります。

バイオサイエンス学科／海洋生物学科／森林学科／環境学科／アグリサイエンス学科／食品開発学科／食品ビジネス学科／国際共生学科

- ① 選考日
令和8年10月31日(土)
- ② 選考方法
各学科内容に関連する実験・実習・演習(1次選考に関する内容)とそれらに関連する発表、口述試問
※学科により課される内容は異なります。

動物学科／獣医保健看護学科

- ① 選考日
令和8年10月31日(土)及び11月1日(日)《2日間参加のこと》
- ② 選考方法
(1日目)各学科内容に関連する実験・実習・演習(1次選考に関する内容)
(2日目)実験・実習・演習に関連する発表、口述試問
※学科により課される内容は異なります。

5 合格発表日

令和8年11月9日(月) 13時
インターネットによる合否案内

6 入学手続締切日

令和8年11月20日(金)

7 昨年度 1次選考課題 [参考]

昨年の小論文の課題です。右ページをご覧ください。

◎小論文課題一覧 [昨年度]

作成した小論文(A4サイズ、1500字程度)に学部より配布した表紙を添付して提出すること。なお、Microsoft WordやExcel等の使用を可とするが、海洋生物学科に限っては、自筆で書くこと。また、小論文の作成にあたり参照・使用した資料を添付してもかまわない。

バイオサイエンス学科

現代社会は「いのち」に関連した課題を多く抱えている。これらの解決に遺伝子のはたらきや機能を制御できる「バイオサイエンス」が大きな力を発揮する。現在、社会的に問題となっている課題の一つりあげ、バイオサイエンスを活用した解決法を自ら考えて述べなさい。

海洋生物学科

これまでの学校生活や家庭での体験の中で、あなたが関わった「魚に関する出来事や学習経験」(例：漁港や水族館の見学、魚の飼育、魚を使った料理や買い物体験など)の中から、印象に残っているものを一つ挙げなさい。その経験をふまえて、現在ある水産資源をより有効に活用するための具体的なアイデアを提案しなさい。また、そのアイデアを実現するために、本学科でどのような知識を身につける必要があるか、さらに、どのような実験や実習を通してどのような技術を習得すべきか、あなたの考えを述べなさい。(1500字程度)

※小論文は手書きで作成すること。

※小論文内で1つ以上の図を用いること。図は100字相当として換算する。

※参考文献から引用する際には「書籍名・サイト名」を明記すること。

アグリサイエンス学科

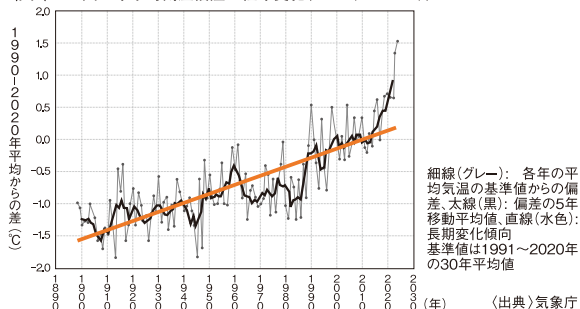
表1は、2022(令和4)年、2023(令和5)年および2024(令和6)年の地域別の水稲うるち玄米1等比率を示している。図1は、わが国の年平均気温偏差の経年変化(1898年～2024年)を示している。これらから、(1)最近の稲作上の問題点を読み取り、それを100字程度で記しなさい。(2)その問題点を解決するために講ずるべき手段を考え、それを1500字程度で小論文にまとめなさい。小論文作成に当たっては、国ならびに都道府県等官公省庁発行の統計や数値データの図表資料を参照してよい。その際は、参照した資料の出典を小論文の後に明記し、その資料も小論文と共に提出しなさい。

〈表1〉地域別の水稲うるち玄米1等比率
[2022(令和4)年、2023(令和5)年および2024(令和6)年]

	2022年	2023年	2024年
北海道	91.5%	87.4%	91.2%
東北	93.3%	67.0%	90.7%
関東	83.2%	73.4%	72.2%
北陸	78.8%	37.6%	81.7%
東海	54.0%	42.1%	34.9%
近畿	60.1%	52.0%	49.2%
中国四国	58.2%	59.8%	53.6%
九州	31.6%	41.2%	29.1%
沖縄	40.9%	51.1%	45.8%
全国	78.6%	60.9%	75.9%

〈出典〉農林水産省(2022年と2023年は推定値、2024年は速報値(2024年12月31日現在))

〈図1〉わが国の年平均気温偏差の経年変化(1898年～2024年)



細線(グレー): 各年の平均気温の基準値からの偏差
太線(黒): 偏差の5年移動平均値
直線(水色): 長期変化傾向
基準値は1991～2020年の30年平均値

〈出典〉気象庁

動物学科

昆虫は進化の過程で非常に多様な形態をもつようになった。この昆虫の持つ口器の違いを食性に基づいて論じなさい。

森林学科

近年、気候変動の地域における影響が世界各地で報告されています。我が国においても、気候変動の影響を森林が受けた結果としての土砂災害や森林火災などが多く報告されています。実際にあなたが見聞きした災害の具体的な事例を挙げ、それに対するあなた自身の考えを述べてください。

環境学科

現代日本において、都市部では、ヒートアイランド現象や都市型水害などへの対応が課題となっています。一方、地方部では人口が減少し、地域コミュニティや社会基盤設備(インフラ)の維持が課題となっています。また、日本全体では、今後も人口減少が進んでいくものと予測されています。居住にともなう環境への負荷を低減させるという観点から、どのような方針でまちづくりを進めていくのが望ましいと思いますか。都市部または地方部どちらかをとりあげ、あなたの考えを述べなさい。

食品開発学科

人は生きるために栄養を摂取する必要がありますが、栄養成分は適切な量を摂ることが重要で、少なすぎても多すぎても体に良くない効果があります。例えば18歳から29歳の人1日に必要なたんぱく質の量(1日当たりのg数)は、男性で70g、女性で55gと定められています。また、食塩の摂取量は、高血圧予防の観点から、15歳以上の人は1日10g未満とすることが望ましいとされています。そこで、あなたが重要だと思う食品の成分を1つ挙げ、その摂取量の重要性(良い効果、悪い効果どちらでも構いません)について述べなさい。また、その成分の量はどのように測定されているのかを踏まえて、適切な量を摂るためにはどうしたら良いか、あなたの考えを述べなさい。

食品ビジネス学科

昨年来、コメが店頭で入手できない、入手できたとしても、以前と比べてかなり高価であるという状況が続いています。このコメの価格高騰の背景を考察し、コメの生産・流通・消費における今後の対応策について提言してください。

国際共生学科

国際共生学科は、グローバルビジネス分野、文化・社会環境分野、情報・コミュニケーション分野から構成されています。この点を踏まえ、あなたが関心を持つ具体的な「共生」課題をひとつあげ、国際共生学科でどのように探求していく計画なのかまとめてください。そしてその結果、あなた自身がどのような人材になるのかについて論述してください。

獣医保健看護学科

あなたの身近にいる犬や猫(飼っている、飼ったことがある、知人の家を見た、動物病院で見かけたなど)との経験をもとにして、以下の問いに答えてください。日本には、ペット(犬や猫)の健康と安全を守るため、通称「ペットフード安全法」と呼ばれる法律があります。犬や猫の主食として与えるペットフードを「総合栄養食」と呼び、5大栄養素がバランスよく含まれ、適切な原材料、保存料、成分規格が守られて製造・販売されています。しかし実際には、ペットが総合栄養食を食べず、間食や手作り食ばかりを食べる例もあります。そこで以下の2つの問いに答えてください。

- 総合栄養食を与えることのメリットを、あなたの実体験や身近な例を交えて、「ペットフード安全法、5大栄養素、原材料、保存料、成分規格」の5つのキーワードを必ず使って説明してください。
- あなた自身の経験や発想から、間食や手作り食しか食べたくない犬や猫に総合栄養食を食べてもらうためのアイデアや工夫を、具体的に紹介してください。

1 募集人員

バイオサイエンス学科 14名／動物学科 9名／海洋生物学科 9名／森林学科 5名／環境学科 5名／アグリサイエンス学科 7名／食品開発学科 9名／食品ビジネス学科 9名／国際共生学科 9名／獣医保健看護学科 6名／獣医学科 5名

2 出願要件

次の要件をすべて満たす者

- (1) 学科ごとに指定された高等学校(中等教育学校(後期課程を含む))の全日制普通科、農業科、水産科、総合学科またはこれらに準ずる学科を令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 各指定学校内の推薦条件を満たし、全体の学習成績の状況が3.5以上の者
- (3) 人物・学業ともに優秀で出身学校長の推薦を受けることのできる者
- (4) 本学部(学科)を第一志望とし、合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者

3 選考方法

書類選考、確認テスト及び面接により総合的に判定します。

※ 確認テストについては、P3を参照してください。

4 出願手続

- ① 出願書類
 - (1) 出身学校長の推薦書(本学部所定の用紙)
 - (2) 出願確認票(web上で出願登録し、プリントアウトしたもの)
 - (3) 推薦入学志望理由書(本学部所定の用紙)
 - (4) 出身学校調査書(1年間の欠席日数が10日以上の場合は、出身学校からの理由書も同封してください(本学部所定の用紙))
- ② 入学検定料 35,000円

5 出願期間

令和8年11月2日(月)～11月5日(木) 郵送必着

6 試験日

令和8年11月21日(土)

7 試験場

生物資源科学部校舎

8 選考結果

令和8年12月1日(火)13時
インターネットによる合否案内

9 入学手続締切日

令和8年12月11日(金)までに入学時納入金の振込を完了してください。

1 募集人員

バイオサイエンス学科 13名／動物学科 7名／海洋生物学科 7名／森林学科 7名／環境学科 7名／アグリサイエンス学科 8名／食品開発学科 7名／食品ビジネス学科 7名／国際共生学科 7名／獣医保健看護学科 4名／獣医学科 13名

2 出願要件

次の要件をすべて満たす者(日本大学の付属高等学校等の在在生を除く)

- (1) 高等学校(中等教育学校(後期課程を含む))または文部科学省が認定する在外教育施設※を令和9年3月卒業見込みの者または令和8年3月卒業の者
- (2) 人物・学業ともに優秀で出身学校長の推薦を受けることのできる者
- (3) 本学部(学科)を第一志望とし、合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者

※ 在外教育施設の場合は令和8年3月から令和9年3月までに卒業または卒業見込みの者

3 選考方法

書類選考、確認テスト及び面接により総合的に判定します。

※ 確認テストについては、P3を参照してください。

4 出願手続

- ① 出願書類
 - (1) 出身学校長の推薦書(本学部所定の用紙)
 - (2) 出願確認票(web上で出願登録し、プリントアウトしたもの)
 - (3) 推薦入学志望理由書(本学部所定の用紙)
 - (4) 出身学校調査書(1年間の欠席日数が10日以上の場合は、出身学校からの理由書も同封してください(本学部所定の用紙))
- ② 入学検定料 35,000円

5 出願期間

令和8年11月6日(金)～11月13日(金) 郵送必着

6 試験日

令和8年11月21日(土)

7 試験場

生物資源科学部校舎

8 選考結果

令和8年12月1日(火)13時
インターネットによる合否案内

9 入学手続締切日

令和8年12月11日(金)までに入学時納入金の振込を完了してください。

日本大学校友枠選抜概要

1 募集人員

全学科 若干名

2 出願要件

次の要件をすべて満たす者

- ① 高等学校(中等教育学校(後期課程を含む))または文部科学省が認定する在外教育施設*を令和9年3月卒業見込みの者または令和8年3月卒業の者。ただし、獣医学科への出願は、父母または祖父母のいずれかが本学部獣医学科の卒業生で獣医師の資格を有する者。
- ② 次の(1)～(4)のいずれかに該当する校友の子または孫(法定血族を含む2親等内直系血族である者。ただし、法定血族の場合は、大学入学年度の3年前の4月1日以前に養子縁組をしていること)である者
 - (1) 学校法人日本大学寄附行為施行規則第11条第6項に定める「この法人(学校法人日本大学)の設置する学校」を卒業または修了した者

【学校法人日本大学が設置する学校】●日本法律学校 ●高等工学校及び工業専門学校 ●東洋歯科医学校及び歯科医学校 ●東京獣医学校 ●専門学校令による専門学校、専門部、高等師範部、高等専攻科及び師範専修科 ●東京高等獣医学校及び東京獣医畜産専門学校 ●専門学校令による大学 ●大学令による大学及び予科、大学院及び選科 ●学校教育法(新学制)による大学、大学院及び短期大学

- (2) 学校法人日本大学が設置する学校に勤務を有する専任教職員または専任教職員であった者
 - (3) 学校法人日本大学の役員または役員であった者
 - (4) 学校法人日本大学の特別付属・準付属校を設置する法人に勤務を有する専任教職員または専任教職員であった者
ただし、特別付属・準付属校を設置する法人は、令和8年4月1日現在のものとする。
- ③ 本学部(学科)を第一志望とし、合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者
※ 在外教育施設の場合は令和8年3月から令和9年3月までに卒業または卒業見込みの者

3 選考方法

書類選考、確認テスト及び面接により総合的に判定します。 ※ 確認テストについては、P3を参照してください。

4 出願手続

- ① 出願書類
 - (1) 出願確認票(web上で出願登録しプリントアウトしたもの)
 - (2) 出願資格確認書
校友枠選抜を受験するには、出願前に日本大学の校友の子又は孫であることの確認が必要となります。事前に「校友枠選抜概要」を入手したうえで、校友会本部事務局に10月30日(金)までに「出願資格確認書」の発行を申請してください。
 - (3) 校友枠選抜志望理由書(本学部所定の用紙)
 - (4) 出身学校調査書(1年間の欠席日数が10日以上の場合は、高等学校からの理由書も同封してください(本学部所定の用紙))
 - (5) その他
獣医学科志願者については、父母または祖父母が獣医師であることを証明できる書類(獣医師免許証のコピー等)
- ② 入学検定料 35,000円

校友枠選抜の概要はこちらから
デバイスによって読み取れない場合があります



5 出願期間

令和8年11月6日(金)～11月13日(金) 郵送必着

6 試験日、試験場

令和8年11月21日(土)、 生物資源科学部校舎

7 選考結果

令和8年12月1日(火) 13時インターネットによる合否案内

8 入学手続締切日

令和8年12月11日(金)までに入学時納入金の振込を完了してください。

A個別方式

●第1期

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	60	264	258	152
動物学科	40	261	253	86
海洋生物学科	50	388	381	64
森林学科	35	95	94	85
環境学科	40	129	127	108
アグリサイエンス学科	39	136	133	105
食品開発学科	45	214	210	68
食品ビジネス学科	42	106	104	43
国際共生学科	42	74	73	42
獣医保健看護学科	27	96	95	35
獣医学科	51	945	912	112
計	471	2,708	2,640	900

●第2期

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	17	128	95	37
動物学科	13	100	74	26
海洋生物学科	13	139	118	21
森林学科	9	50	42	35
環境学科	10	40	22	10
アグリサイエンス学科	10	36	22	10
食品開発学科	13	81	61	31
食品ビジネス学科	11	47	38	12
国際共生学科	11	46	36	11
獣医保健看護学科	7	43	33	11
獣医学科	10	383	304	23
計	124	1,093	845	227

N全学統一方式

●第1期

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	8	271	253	15
動物学科	5	250	232	8
海洋生物学科	6	188	167	14
森林学科	5	130	125	81
環境学科	5	153	143	66
アグリサイエンス学科	5	158	149	83
食品開発学科	6	197	183	9
食品ビジネス学科	6	132	119	13
国際共生学科	6	105	92	19
獣医保健看護学科	3	93	88	4
獣医学科	5	387	340	7
計	60	2,064	1,891	319

●第2期

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	7	133	86	16
動物学科	5	159	112	5
海洋生物学科	5	137	92	19
森林学科	5	93	61	22
環境学科	5	91	69	5
アグリサイエンス学科	5	98	67	9
食品開発学科	5	117	79	9
食品ビジネス学科	5	103	74	5
国際共生学科	5	78	50	5
獣医保健看護学科	2	61	46	8
獣医学科	3	422	322	3
計	52	1,492	1,058	106

総合型選抜

●総合型選抜

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	15	36	36	35
動物学科	10	52	52	34
海洋生物学科	10	72	72	14
森林学科	8	11	11	10
環境学科	8	11	11	11
アグリサイエンス学科	10	14	14	12
食品開発学科	10	38	38	14
食品ビジネス学科	10	59	59	11
国際共生学科	10	27	27	13
獣医保健看護学科	5	42	42	6
獣医学科	—	—	—	—
計	96	362	362	160

●日本大学校友枠選抜

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科		1	1	1
動物学科		5	5	3
海洋生物学科		11	11	3
森林学科		1	1	1
環境学科		0	0	0
アグリサイエンス学科	若干名	1	1	1
食品開発学科		0	0	0
食品ビジネス学科		3	3	1
国際共生学科		0	0	0
獣医保健看護学科		3	3	1
獣医学科		18	18	4
計		43	43	15

学校推薦型選抜

●指定校制

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	14	36	36	36
動物学科	9	19	19	19
海洋生物学科	9	29	29	29
森林学科	5	21	21	21
環境学科	5	18	18	18
アグリサイエンス学科	7	34	34	34
食品開発学科	9	37	36	36
食品ビジネス学科	9	27	27	27
国際共生学科	9	25	25	25
獣医保健看護学科	6	2	2	2
獣医学科	5	3	3	3
計	87	251	250	250

●公募制

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	10	6	6	6
動物学科	7	20	19	13
海洋生物学科	7	41	41	9
森林学科	4	2	2	2
環境学科	4	7	7	7
アグリサイエンス学科	5	7	7	7
食品開発学科	7	22	21	7
食品ビジネス学科	7	31	31	7
国際共生学科	7	9	9	7
獣医保健看護学科	4	33	33	14
獣医学科	13	97	97	13
計	75	275	273	92

入学者納入金

入学者納入金は下表のとおりを予定しています。出願前に改めて募集要項でご確認ください。入学金を除く授業料等の納入金は原則として2年次以降卒業年次まで、入学年度と同額です。

入学手続き時納入金の納入方法について

本学部に合格し、入学手続きを行う場合は、入学手続き期限内に所定の納入金を一括して振り込んでください。ただし、一般選抜A個別方式第1期・N全学統一方式第1期については、他大学または日本

大学の他学部・短期大学部(学科)を併願している場合、入学手続き期限内に入学申込金(入学金相当額)を納入することにより、入学手続きを延期することもできます。この手続きを二段階手続きといいます。

入学者納入金 (予定)

(単位:円)

学科	納入区分	入学金	授業料	実験実習料	施設設備資金	後援会費	校友会費(準会員)	合計
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科	入学金及び前期学費 (入学手続き時納入)	260,000	525,000	75,000	100,000	15,000	10,000	985,000
食品開発学科 獣医保健看護学科	後期学費 (納入期限9月)	—	525,000	75,000	100,000	15,000	—	715,000
食品ビジネス学科 国際共生学科	入学金及び前期学費 (入学手続き時納入)	260,000	425,000	50,000	85,000	15,000	10,000	845,000
	後期学費 (納入期限9月)	—	425,000	50,000	85,000	15,000	—	575,000
獣医学科	入学金及び前期学費 (入学手続き時納入)	260,000	750,000	150,000	175,000	15,000	10,000	1,360,000
	後期学費 (納入期限9月)	—	750,000	150,000	175,000	15,000	—	1,090,000

学部オリジナル動画、公開中！

地球の未来を見つめて、 ずっと前から、SDGsな学部です。

2030年までの達成をめざし、世界中で取り組みが進められている持続可能な開発目標が「SDGs」です。日本大学生物資源科学部は、このSDGsに先駆けて、持続可能な社会を実現するための活動を、学部を挙げて展開。その多彩な取り組みを、楽しく紹介する動画も公開していますので、ぜひ、学部ガイドブックと併せてお楽しみください！

動画はこちらから

デバイスによっては、
読み取れない場合がございます。



入学者選抜に関する問い合わせ

生物資源科学部 入学センター

TEL 0466-84-3812(直通) E-mail brs.nyuushi@nihon-u.ac.jp

日本 **生物資源科学部**

Nihon University College of Bioresource Sciences